

ブルーバックス『認知バイアス 心に潜むふしぎな働き』の訂正とお詫び

2020年10月刊行『認知バイアス 心に潜むふしぎな働き』（鈴木宏昭 著）の第1刷に誤りがありましたので、ここに訂正してお詫びいたします。

● p 98 3行目

誤) 図 A

正) 図 4・3

● p 100 2行目

誤) 図 B

正) 図 4・4

● p 108 表 5・1

誤)

		相手	
		協力（黙秘）	裏切り（自白）
自分	協力（黙秘）	自分：1年 相棒：1年	自分：10年 相棒：2年
	裏切り（自白）	自分：2年 相棒：10年	自分：5年 相棒：5年

正)

		相手	
		協力（黙秘）	裏切り（自白）
自分	協力（黙秘）	自分：2年 相棒：2年	自分：10年 相棒：1年
	裏切り（自白）	自分：1年 相棒：10年	自分：5年 相棒：5年

● p 108 9行目

誤) 懲役 10 年を 2 年にして

正) 懲役 10 年を 1 年にして

● p 108 11行目

誤) 懲役 1 年で起訴する。ただし

正) 懲役 2 年で起訴する。ただし

● p 108 15～16 行目

誤) 相棒と協力して黙秘を続ければ懲役の期待値は $(1+10)/2$  で 5.5 年となる。一方、裏切って自白すれば $(2+5)/2$  で 3.5 年となる。

正) 実験参加者に聞くと、協力を選んで黙秘を続ければ懲役の期待値は $(2+10)/2$  で 6 年となるが、裏切りを選べば $(1+5)/2$  で 3 年となる、などという答えが返ってくる。

● p 109 2 行目

誤) しかしもし協力して黙秘すれば 1 年ですむのである

正) しかしもし双方が協力して黙秘すれば 2 年ですむのである

● p 109 10 行目

誤) これも裏切りの方が期待値が高い。

正) これも裏切りの方が得に思える。

● p 187 16 行目～p 188 1 行目

誤) Lisa という PC、NeXT というワークステーション (高性能コンピュータ) の失敗はあの会社に大きな打撃を与えた。特に後者は創業者兼社長のジョブズ氏の追放にまで至った。

正) そして新しいコンピュータの開発の失敗、販売台数の見積もりの誤りなどから、伝説的な創業者のスティーブ・ジョブズ氏は会社を去ることになってしまう。